

# 三和分校

## PTAだより

福知山高校

三和分校PTA

令和4年

7月19日

子どもを育てる力を一緒に育む

PTA会長 大崎 晃子



令和4年度 PTA会長を務めさせていただくことになりました。大崎と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。会員の皆様方におかれ

ましては、平素よりPTA活動に多大なる御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年度は、新型コロナウイルスの影響を受け、沖縄への修学旅行が2泊3日の和歌山旅行になり、従来と同じようにはいきませんでした。しかし、生徒達は、那智の滝、アドバンチャーワールド、博物館等、自然や動物と触れ合うことができ、満足したと聞いております。また、文化祭においても、コロナ前は家政科はクッキーやシヤム、三和分校鍋、農業科は野菜の展示や販売を、地域の方や保護

者に対して行っていました。一昨年度から生徒と教職員のみへの販売や展示活動報告となりました。

全国農業クラブ連盟大会では前4年生が準優勝と惜しい結果になりましたが、近畿農業クラブ連盟大会では、オンラインでの実施にも関わらず最優秀という素晴らしい結果を残しました。聞くところによると、会場で発表できなかったのを残念がっていたそうです。

今年度は新しく、1学期に天橋立全体を約1時間かけて全校生徒でボランティアの清掃活動をしましたし、1年生のタブレットを活用した授業が開始されます。最近では、昨年行われなかった府庁販売を生徒が参加して行うことができ、30分程度で売り切れました。この数年、コロナの影響で、色々な行事が中止や縮小となり、子どもも窮屈な思いをしているなと感じていましたが、少しずつ活動が戻ってきたように思います。

三和分校のスローガンは「ゆっくの確実に学ぶ君を応援します」。1人ひとりの個性を生かすことができる学校です。私は毎日の子育ての中で、思うところがあります。それは、子どもが自分の才能を見つけて出すお手伝いができないか？という

ことです。自分の才能が何かわからず過ごす子どもが大半だと思います。その子ども達が自分の才能を探お手伝いをするの、親の役割であり教育の役割だと私は思います。

「自分には何も取柄がない、何の才能もない。」という思い込みを取り除き、「ないのではなくまだ見つかっていない。」そのように気づくことがまず第一歩だと思っています。私も子ども達と『隠れている自分の才能』を一緒に悩み、一緒に考えながらともに成長していきたいと思っています。また今年度は始まったばかりです。まだまだ自分の才能に気づく時間があります。親も子どもと一緒に人として成長していきませんか？

### 個性を活かし、共に生きる

校長 藤田 浩



PTA会員の皆様には、日頃より本校の教育活動に御理解・御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。4月1日付け人事異動で、校長として着任しました藤田 浩です。どうぞよろしくお願い申し上げます。私自身として、5年ぶりの本校勤務となります。平

成22年度より高校の教諭として4年間、その後附属中学校首席副校長として平成29年度までお世話になっておりました。その間、三和分校にも初任者指導教員として勤務し、授業もさせていただきました。再び勤務させていただくことに誇りを感じ、精一杯職務を全うしたいと思っております。

さて、新型コロナウイルス感染症につきましては、感染がなくなったわけではなく、気を緩めることなく「自分が感染しない」「他の人に感染させない」「感染を広げない」という3つの意識を持つことが大切とされています。府の通知等に基つき感染防止対策を講じながら教育活動を進めているところです。今後の感染状況で様々な変更の可能性がありますが、「生徒の学びを止めない」ことを最優先とし、工夫をしながら進めてまいります。

本年度は、4月11日に入学式を行い、農業科8名の入学を許可し、全校生徒36名でスタートすることとなりました。入学式では、新型コロナウイルス感染症対策とともに校内大規模改修の影響により、御来賓の出席を御遠慮いただき、保護者の出席は1名とする対応をとりさせていただきました。特に、校内大規模改修により来場者の駐車場の確保が困難な状況になり、急遽、校外に駐車場を確保し対応をいたしました。急な変更にも係わらず、保護者の方々には御理解・御協力いただきましたこと、あらためてお礼申し上げます。

三和分校では、

- ・自分の良さを見いだし、自信をもつて主体的に行動できる生徒
- ・地道な努力を継続し、諦めず目標を叶えようとする生徒
- ・他者を思いやり、互いに認め合い、支え合える生徒
- ・人との関わりを大切に、他者と協働して取り組める生徒
- ・自分の行動に責任を持ち、自立して社会で生き抜いていける生徒

を目標とする生徒像として、卒業がゴールではなく、社会で活躍できるように、卒業後を見据えた指導を行っています。そのような中、4月からこれまで、校内での教育活動に加え、花苗の販売実習や地域と連携した実習等も無事行うことができています。特に今年度初めて、全校そらっとの遠足（大橋立方面）を6月3日に実施しました。コロナ禍で様々な体験的活動、集団的活動が制限されてきた中で、全校生徒の絆を深める有意義な取組となりました。



食品加工室での実習

また、京都府教育委員会からの支援もあり、食品加工室が完成しました。充実した実習ができるようになり、加工販売の許可も取り、販売活動も始まりました。今後は、食品加工室をはじめ様々な施設・設備を活用し、農業科

と家政科のコラボや、地域と連携した教育活動を展開していきたいと考えています。

一方、PTA活動ですが、2年間、総会を開催することができず、書面審議としてきましたが、6月11日に対面でのPTA総会を実施することができました。それに先立ち、授業参観も行い、多くの保護者の方に御参加いただきました。今後、新型コロナウイルス感染症の状況によりですが、多くの会員の皆様に参加していただき、学校教育と家庭教育を両輪に、生徒の健全な成長を図るための活動ができますよう、福高の応援団として御協力のほど、よろしくお願いたします。

明日から夏季休業に入ります。4年生は進路実現に向けて勝負の夏、1、2、3年生にとっては、自分自身の器を大きくするための挑戦の夏にしてほしいと思います。9月には大きく、たくましく成長した生徒と出合えることを期待しています。保護者の皆様におかれましては、夏季休業中も引き続き、学校と連携をして御指導のほど、よろしくお願いたします。



(上)PTA総会 (下)授業参観

## 教務部より

### 主体性の伸張をめざして

教務部長 早川 諭子

今年度、教務部長を務めさせていただきました早川諭子と申します。どうぞよろしくお願いたします。

さて、今年度の1年生から学習指導要領が変わり、私が担当している「現代の国語」の教科書も、これまでの教科書とはずいぶん趣の異なるものとなりました。実際に話したり聞いたり書いたりする活動が増え、そのような活動を通して、社会で求められる実用的な力を着実につけていくように構成されています。

このように中で、これまで以上に求められるのが「主体性」です。評価の観点にも「主体的に取り組む態度」が加わり、生徒が自身の学習の仕方を粘り強く工夫したり調整したりする態度を重視しています。

この「主体的に取り組む態度」は、確かに数値化しにくく、評価する教師側も戸惑うところがありますが、変化し続けるこれからの社会で生き抜いていくにはとても大切な方だと考えています。今年度新しくなった「トライ」が目標とするところも、やはり、生徒の主体性の伸張です。教員がそれぞれの得意分野を生かし、グループ(ゼミ)を作って活動しています。

生徒たちはそれぞれ、自分が興味を持ったゼミを選び、毎週楽しく取り組んでくれています。ここでは教員から教わるのではなく、生徒自身が考え、行動することを大切にしています。当然、生徒にとってはわからないことやうまくいかないことばかりですが、それでも楽しんで、あれこれと試行錯誤する姿はとても頼もしく、教師にとっても嬉しく、楽しい時間となっています。

まだまだ始まったばかりの取組ですが、ぜひ御家庭でも話題にしていただき、励ましていただけたらと思います。この1年間、生徒がのびのびと主体的に学べる学習環境の整備に尽力していきます。今後とも御理解御協力のほど、よろしくお願いたします。

## 生徒指導部より

### シン・三和分校生

生徒指導部長 小林 一洋

PTA会員の皆様には、日頃より三和分校の教育活動に御理解と御協力をいただきありがとうございます。

令和4年度は全校生徒36名でスタートをして穏やかに1学期を過ごすことができました。

生徒会行事などは生徒数が少しでも多いほうが盛り上がるのですが、今の三和分校生は真面目でおとなしい性格の生



徒が多く、現状の中で楽しむことができず、生徒達のように感じています。また、「ここ数年の傾向で各学年10名前後の少ないクラスメイトの枠に縛られず、学年を越えた先輩後輩の良い関係を持つ姿が見られるようになってきました。先輩は先輩として後輩に良い姿を見せてリーダーシップを発揮する責任を、後輩は後輩として先輩の目指す活動に協力する役割を経験しながら成長してゆけることを期待しています。

早速、6月3日に新しい取組を行いました。例年なら新入生歓迎の球技大会を行っていたのですが（球技大会は2学期実施を検討しています）、今年は縦割りの活動班でゴミを拾いながら天橋立縦断ウォークラリーを行う遠征を実施しました。当日はとてもいい天気で8割の成功を確信しました。ウォークラリーでは、途中の松に置いたスタンプを押ししたり、決められた松の幹の廻りを予想したり、拾った松ぼっくりの大きさのコンテストを行いました。学年の違う生徒たちが相談する姿や協力する姿が見られました。

その後は、海を見ながら丹後寿司を全員で食べ、ほとんどの生徒が一人乗りのリフトで笠松公園まで上がり、景色が良くて気持ちの良い時間を過ごしました。



遠足

生徒も教員もほぼ全員体制で実施できま

したので、生徒にとっても教員にとっても、いい経験でいい思い出が残る一日になったと思います。

新型コロナウイルスの感染状況も気になります。2学期には体育祭や文化祭など大きなイベントがたくさんあります。コロナ禍を乗り越えた経験を活かして感染防止を徹底しながらの新しいかたちのイベントで「シン・三和分校生」を見せてくれることを楽しみにしています。

**保健部より**

**定期健康診断結果より**

〜 歯の健康について 〜

看護教諭 土師 沙聡

口頃より、お子さまの心身の健康に係わり、様々な面で御協力やサポートをいただき、心より感謝申し上げます。養護教諭としてお世話になっております、土師沙聡と申します。

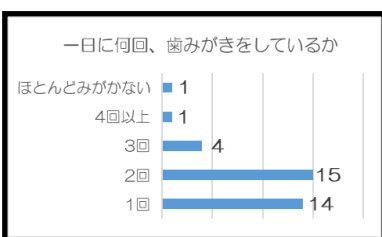
「コロナ禍での学校生活も3年目になり、生徒達の中でも日々の感染症対策が定着しています。御家庭でも体調管理に気を配っていただき、おかげさまで大きな感染拡大もなく、落ち着いた学校生活を送れています。コロナを、大変嬉しく思っております。

さて、毎年実施している定期健康診断ですが、様々な感染症対策のもと、今年度も無事に終了することができました。

本校では少人数ということもあり、校医の先生方に一人ひとりの状態を非常に丁寧に診ていただきながら、検診を行っております。また、健康診断の結果については、例年、学校保健会議を開催し、学校三師の先生方から御指導・御助言をいただく機会を設けています。

その中で気になっているのが、生徒達の「口腔内の状態」です。検診の結果、歯や歯周病の心配がある生徒が多く、将来的な影響も懸念される状況です。

今年度は、検診前に歯みがきの習慣などについてアンケートを実施しました。



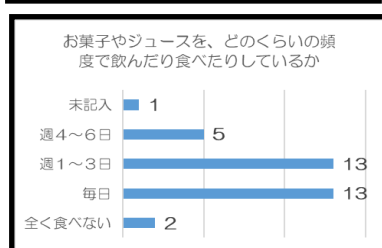
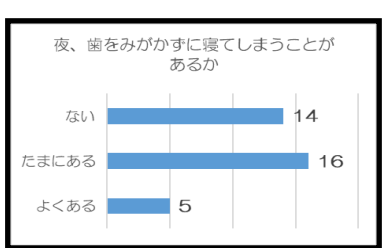
「たまにある」を含めると8割以上を占め、中には、普段から夜に歯をみがいていない生徒も見られました。

お菓子やジュースについても、日常的に口に入っている生徒が多く、このような生活習慣も、歯や歯周病を作りやすい要因だと言われています。

歯の健康は一生のものです。生徒達自身に大切さを理解してもらえらるよう、学校歯科医とも連携し、取組を検討したい

と考えております。御家庭の方でも様子を見守っていただき、特に夜の歯みがき習慣の確立に向け、御協力いただけますと幸いです。

歯みがきでは、どんなに丁寧にみがいても、自分では取れない汚れもあります。また、歯科医院での治療が改善への大きな一歩となります。「コロナ禍で様々な御事情があらわれることと存じますが、夏休み等の機会を利用して、ぜひ受診を進めていただきますよう、御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。



**新転任の先生より**

英語科 田中 重則

PTA会員の皆様、はじめまして。今年度から本校にお世話になっております田中重則（たなかじむねのり）と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。この3月で定年退職し、再任用として職に就いております。福知山高校には17年ぶりというところになります。また、初任の高校や前任校

